

令和3年11月度栗東市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和3年11月25日(木)	10:00~11:20
開催場所	庁舎 4階 第1委員会室	
出席委員	教 育 長	福原 快俊
	教育長職務代理者	内記 一彦
	委 員	田中 和子
	委 員	朽木 徳壽
	委 員	太田 加代子
事務局出席者	教育部長(川崎)、子ども青少年局長(太田)、教育部次長兼スポーツ・文化振興課長(片岡)、教育総務課長(西村)、学校給食共同調理場所長(井上)、学校教育課長(田中)、学校教育課参事(高野)、生涯学習課長(小山)、幼児課長(内田)、幼児施設課長(村瀬)、図書館長(西村)、学校教育課課長補佐(石田)、人権教育課係長(稗田)、書記(小林)	

開会宣言 10:00

教育長

ただいまから令和3年11月度教育委員会定例会を開会いたします。
日程に従い、進めさせていただきます。「日程2 市民憲章唱和」をお願いします。

市民憲章唱和(生涯学習課長)

教育長報告

続きまして「日程3 教育長公務状況報告」について、私から報告させていただきます。
11月2日(火)栗東地区更生保護女性会結成60周年記念式典、3日(火祝)歴史文化財講座「祈りのちから～五百井神社の信仰～」、4日(木)令和4年度教職員人事異動方針説明会、7日(日)第45回栗東市美術展表彰式、15日(月)栗東市教育委員会学校園訪問、18日(木)第1回栗東市交通安全対策会議、19日(金)11月採用新規職員辞令交付式、議会説明会、23日(火祝)くりちゃんファミリーマラソン大会2021、24日(水)定例校長会、25日(木)教育委員会定例会、予定として26日(木)議会運営委員会です。
以上でございますが、何かご質問ございましたら、お願いします。

教育長

ないようですので、次に進めさせていただきます。
続きまして日程4 報告事項①「各課(館・所)の11月度事業進捗状況について」報告をお願いします。

教育総務課長から順次報告

教育長

報告事項①について、質問等はございませんか。

教育長

ないようですので、以上で報告事項①「各課の11月度事業進捗状況について」終了させていただきます。次に報告事項②「児童生徒数出勤・出席状況について」報告をお願いします。

学校教育課長、幼児課長から順次報告

教育長

ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見はありませんか。

教育長

ないようですので、報告事項②「児童生徒数出勤・出席状況について」を終了します。続きまして、報告事項③「全国学力・学習状況調査結果について」説明をお願いします。

学校教育課長補佐より説明

教育長

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたら、お願いします。

太田委員

くりちゃん検定がくりちゃんチャレンジとして改善し、クロムブックを活用した取り組みがされるということですが、くりちゃん検定で今まで漢字で「トメ」「ハライ」をすごく細かくチェックされていたので、その辺りがどうなのかなと懸念があったのですが、先日学校訪問をさせてもらった時に小学1年生がタッチペンでスムーズに書けていたので、大丈夫かなと思いつつも、高学年になると画数も多くなって細かい字になってくるので、その辺りの採点はどうなるのかなと懸念はしました。学習についても基礎基本がわかっていないということですが、それをいかに解るように持っていく、意欲を持っていくのが課題だと思うのですが、解っている子は大丈夫なのですが、解っていない子をいかにどうするか、一括りにしてやってしまうと、授業でやっている延長上でわからないまま進んでしまうと思うので、その基礎基本が解っていない子をいかに解るように、その子達のペースで持っていくのか、また課題だと思うので、一括りにしないで、大変だと思うのです

が、解っている子はそれをいかに解るようにするか、解っていない子は振り返って中学生なら小学生のところまで戻って基礎から解るように出来たという意欲を持って出来るような方向性でやっていただけるといいかなと思いました。

教育長

くりちゃん検定の漢字をタブレットで書くというのは、拡大できると思うのですが、どうですか。

学校教育課参事

タブレットですが、手書きで書く所については、右利きで書く子は右側に、左利きで書く子は左側にマス目を移動させることも出来ますし、サイズも変えられることも確認しております。確かに画数が多くなって「トメ」「ハライ」を今まですごく細かく見ていた部分が難しくなるかなとは思いますが、今まで出来なかった書き順がタブレットでは正しい書き順でないと丸がもらえないようになっております。そういった部分も活かしながら進めていきたいと考えております。

教育長

解らない子を解らないまま一括りとして進めないで、そういう個別の関わりはどうですか。

学校教育課長

ご心配頂いております点については、私たちは教室で指導する時にも非常に気を付けないといけないなと思うところです。目の前に35人の子ども達がおられますと、35人の学力が一定ではありませんし、一つ課題を出してもみんなが一回で理解をするのはなかなか難しいかもしれません。投げかけ方にもよるかもしれませんが。子ども同士での教えあいであるとか、例えば理解出来た子が同じグループの中で教えることによって、より自分の理解が深まったりなど、そういった子ども同士の学び合いということも今後しっかり進めていきたいと思えます。

教育長

先日の校長会で、太田委員もおっしゃったように解らない子に対してきちっと聞き取ってもらって、その子の状況を把握して先生が進めてもらえるように校長にも話をさせていただきました。個別の指導、あるいは子どもの今の状況をどう把握するのか等お願いしました。その他、いかがですか。

内記教育長職務代理者

毎年、学力学習調査をしていただいて、どうしても目につくのが全国平均の点数と県の

平均、栗東市の平均と書いていて、課題にも書いてあるように栗東市の平均が低い。こうして毎年報告をもらっているが、点数だけではないというのは分かっています、せめて県平均を超えるくらい目指していくとか、何年かに一回は県平均を超えるくらいを目指して対応していただかないと毎年このようなレベルになっている。そこからの見解というか考えはいかがですか。

学校教育課長

点数だけではないとは言いながら、ただそこを利用改善して子どもの意欲を高め、また理解を高めていくのかというところは、私たちもそうですし、各小中学校でも授業改善をしていっているところです。ただ気になっているところは、文章を読むとか書くというところについて弱さがみられるということと、無回答率が高かったところです。無回答率が高いというのは、ちょっと見て難しければ飛ばしてしまうとか、最初の方の問題を解いている間に時間がきてしまって最後の方まで行きつかなかったりとか色んな理由があるかとは思いますが、そこについては先程のくりちゃんチャレンジもそうですが、粘り強く自分がやり続ける、やり遂げるんだということの大切さを授業だけではなく色んな体験を通して子ども達に指導してまいりたいと思います。それと読む書くということにつきましては、タブレットを導入いただいたこともあるのですが、授業の中で書き慣れる、読み慣れるということが非常に大事になってくると思いますので、例えば図書館とも連携をさせていただいて、読書をする環境をつくる、またその時間をどのように確保していくのか考えてまいりたいと思いますし、授業の中で振り返りをいかに書かせるのかということもしっかりと考えて取り組みを進めてまいりたいと考えております。

内記教育長職務代理者

今言っていたように、無回答率が多い、力が弱いというのが平均点にも影響していると思いますので、その辺りの部分の授業改善をすると平均点も上がってくるのかもしれない。その点にも力をいれていただければと思います。

教育長

今、おっしゃっていただいた点については、資料2ページの小学校国語のグラフを見ていただいたように記述と読むという部分が苦手だということです。同じく資料4ページの算数のグラフを見ていただくと記述が下がっています。これは問題を読むのが苦手だということです。同じく6ページの中学校国語のグラフも記述と読むが下がっています。これは読む力というか読む経験が少ないのではないかと思います。8ページの数学も記述がぐっと下がっています。先程の無回答率の率が高かった問題もやっぱり問題が最後だったということもありますけど、長い問題文を読むということに対する抵抗感、読むことに慣れていない、文章を使いこなせていない、そういう力がこのグラフに表れているのではないかと話し合っていて、これまで栗東市はことばの力、読む力、書く力、話す力をつけ

ていこうと努めてきたはずなんですけど、やっぱり学校の中での読書体験だけではなくて、家庭での読書の時間を確保してもらって、学校でも短い時間でも毎日読書が出来る環境を作っていく、そういう努力が必要なのではないかと思っています。それが無回答率の低下に結果的には繋がっていくと思いますので、そういう努力をしていきたいと思っています。また子育て教育NEXTプロジェクト外でも努めてますように小さい頃からそういう環境を、本に親しむ、読み聞かせをしてもらえる環境を皆が持てるようなそういう取り組みも進めていけたらと考えております。それと太田委員さんがおっしゃっていただいたように一人ひとりの解る解らないということにちゃんと応えられる、そういう授業にしていきたいと思っています。

教育長

ほかにご覧いませんか。それではほかはないようですので、報告事項③「全国学力・学習状況調査結果について」終了いたします。続きまして、報告事項④「栗東市教育委員会学校園訪問の結果について」を議題といたします。去る11月15日(月)に大宝幼稚園分園、大宝東小学校、栗東西中学校を訪問させていただきました。委員の皆様から感想などを報告していただきたいと思っています。

朽木委員

小学校中学校に関しましては、タブレットを使った授業を見せていただきました。子ども達を使いこなしている状況、中学校では私たちにも1台ずつタブレットを準備していただき実際に触ってクイズ形式の問題を解いていくというようなことをしていただき、実際触らせていただいたことが有難かったです。私は家にパソコンを置いていますが、ワープロの使い方しか出来ていません。というのは仕事をしている時は、仕事を辞める直前にパソコンが入ってきました。実際、自分がする仕事に関係するところだけ教えてもらって使っていました。今の子ども達は基礎からしっかりとそういうシステムを教えてもらえることが羨ましいなと思いました。中学校におきましては、学校の生活状況ですが、平成14年くらいから世間では犯罪とか非行とか世間では平成14年くらいをピークに減少しております。平成14年と現在を比べますと、犯罪非行の認知件数が4分の1くらいになってきています。刑務所におきましても、入所者の数その頃から減少してきています。令和4年3月末をもって滋賀刑務所が廃止になるような状況です。保護司活動の中では中学校や小学校を訪問させていただきました。その中で感じていたのは、やはり子ども達の非行や犯罪にどのような変化がみられてきたかということ、やはり一般の減少しているのと一緒に学校でも減少している。その目で見分けるのは、これまでですと学校訪問させていただいて、校内をまわらせていただくと、授業に入れない子ども達が相当な数がいましたが、それが全くいないこともありますし、それから栗東西中学校の下駄箱みましたら、以前はぐちゃぐちゃでしたが、それが今はきれいに並んでいました。先生方のご努力いただいている結果だなと感謝しております。昨日の愛知県のニュースではあのような悲惨な事

件が起こっています。問題のある子どもさんをしっかり見るのも大変だとは思いますが、全ての子どもさん、問題のない子どもさんもしっかりと見ていただきたいなど、昨日のニュースを觀まして感じたところです。

内記教育長職務代理者

先日の学校園訪問に寄せていただきまして、一番驚いたのはGIGAスクールによるタブレット端末の活用です。小学校1年生と4年生を見せていただきましたが、1年生の授業については我々でも分かりますが、4年生にもなるにつれていけないように感じました。先生方も勉強されて活用されていますが、学力が向上するように活用していただくように、例えば宿題をそれに変えとか、学校の先生方の時間短縮にも繋がるかと思しますので、それを活用していただいて頑張りたいと思います。

田中委員

幼稚園の方ではコロナ禍の中で園児同士が群れて遊ぶということと、コロナ感染を防ぐというこの二つの相まったことで、園長先生はじめ園の先生方が苦慮されておられました。今では園児同士のコミュニケーションに繋がる遊びというものを優先して園運営をしていると報告をいただいて、有難いことだなと感じたところです。まずそこが基本なので安心させていただきました。非常に園児達はのびやかでした。小学校は職員の組織が非常に整っているというか、校長先生の学校運営の采配が一人ひとりの先生方を活かすそういった組織体制になっているなど感じさせていただいて、タブレットを使った授業についても一丸となって先生方を取り残さない、先生が苦手で出来ない先生がいない、させないという、そういう強い意識の中で進められていましたので、子ども達にもそういう事が反映した授業でした。1年生は興味津々ですごかったですし、4年生も個々に調べたものを学級全体で共有するという効率のよい授業展開でありましたので、出来るだけ先生方の働き方改革に繋がっていけばいいなということと、基礎学力の定着ということも今までにはない手法で子ども達が得とくしてくれたらいいなと思います。中学校も非常に静かで落ち着いて挨拶も出来ていましたし、すごいなと思いました。たくさんの生徒がいる学校のように思えない静けさでありましたし、ここも職員の体制が上手く機能しているなど感じました。タブレットを使った授業を見せていただいて、太田委員さんが気になりましたということで、板書の字が小さいという、あれは基礎基本ですので、いい指摘だと思っておりました。中学校の先生の授業改善ということが栗東市内の一つの課題でしたので、基礎的な先生方の授業のノウハウを得とくしてもらうことで、とてもいいところを指摘してくださいました。中学生のもう少し時期に合わせたタブレットの活用方式からも授業改善に繋がっていくのかなとこれからどんどん授業改善の神髄に迫っていただけたらありがたいなと思いました。学力の平均点というのは一人無回答とか一人落ちていると平均にすごく影響されるので、教師としては辛いところだと思います。底を上げるというのは非常に難しい、労力をいくら費やしても家庭の経済力ですとか、家庭の文化の程度といえます

か、なかなか学校教育で迫っていくのは時間も労力も非常に費やして、そして1年というのはあっという間に過ぎてしまって、6年間3年間、9年間卒業してしまうということになるかと思いますが、栗東では福祉と教育とタイアップして両輪で行こうと、そこに図書館の協力を得て読む文化が家庭の中に少しでも定着できるように、以前、東北の川島隆太先生が中学校2年生の講演にきていただいた時から栗東はスマホをしている時間が全国より本当に長いですねと、それが少しでも短くなればいいと思うのですが、改善できないという、これは大人の問題でもあるかと思いますが。そういった辺りも生涯学習課の方からも出来る場所でアピールしていただいて、みんなで栗東の子どもをよりよくと思った次第です。学校訪問は非常に希望を持たせていただける結果の学校訪問でありました。特別給食も美味しくいただきましたし、ありがとうございました。お世話になりました。

太田委員

保護者側としてお話させていただけたらと思います。長くコロナが続く中で幼稚園も小学校も中学校も色々大きな問題や課題を抱えながら感染対策をして子ども達が元気に生活出来ていることにすごく感謝いたしましたし、先生方の努力の甲斐があつてのことだと思いますので、有難く思っております。大宝幼稚園分園については閉園が決まっている中で先生方色々対応とか考えて動いてくださっているの、保護者からの不安とか心配事などにも前向きに説明してくださっているようですし、園によってそれぞれのカラーとか教育方針なり雰囲気とか色々違うかと思いますが、その違う園が二つ一緒になるということも色々課題とか問題が起きると先生方も十分分かってらっしゃると思うので、その辺をいかにどうするかというのも先生方も悩んでいらっしゃったことだと思いますが、それをいかに子ども達のためにどうしたらいいかということをお互いの先生同士が交流し合って意見を出し合って話し合って前向きに動いてくださっているということを知って、安心いたしました。子どもや保護者に対しても分園がなくなって統一して遠くなるけどここまで来てよかったなと思ってもらえるような園づくりをしていただけるように市民の皆様とも協力してほしいなと思いました。小学校中学校については一人一台の端末が支給されて少しずつ授業で活用されつつあって、オンラインが出来るという状況までなっていることにすごく驚きました。一年前まではこの場とかで一人一台の端末が揃うのか、配線はどうか充電機はどうか等話をさせていただいていて、私の娘がその時中学3年生でもうすぐ卒業間際だったので、触れるのどうなのという話をさせていただきました。結果1回2回パスワードを入れて健康観察をしたくらいで終わってしまって卒業して残念だったんですけど、そこから考えてまだ一年も経っていないのに、一人一台の端末が揃ってWi-Fiなど充実された環境になっていることに市長さん教育長さんはじめ関わってくださった皆さんの努力の賜物だと思うので感謝しております。実際に大宝東小学校でクロムブックを使っているところを観させていただいて、大宝東小学校では「誰一人取り残さない」というモットーにすべての先生が色んなことにすぐ対応できるように協力して意見を出し合って話し合って何度も研修をして努力をした中で先生方に対しても取り残さないというよう

な一つのグループとして皆が一つの事に向かって頑張っていらっしゃることに学校訪問をしてすごく感じました。そのおかげで子ども達も生き生きとした表情で授業を受けていると見受けられました。その中で突然オンライン授業をすることになって、先生方は色々と考えていらっしゃった中に突然実際にしなくてはならない状況になった時に一日でオンライン授業の計画を立てて、保護者にも連絡をして翌日から授業をされたと伺いました。保護者に対しても連絡をして先生方も試行錯誤しながらのオンライン授業だったと思うんですけど、それをした後に実際やってみてこうだったとか、色々反省点とか課題とか出てきたと思います。保護者の一人としてオンライン授業を経験していませんし、どういうものかも分かりませんし、実際子どもが家に持って帰ってタブレットを開いて学校と何かしたということもないです。クロムブックを使って夏休みにはしましたが、実際オンラインに繋がってどうこうというのはしてないので、実際どういう状況なのかは分かりません。大宝東の保護者の方も突然オンラインと言われてあたふたされた方も多分いらっしゃったと思うので、いい事もそうでない事もこうだったよというような一つの情報として栗東市の保護者の方とか児童とか情報を共有できたらいいなと思いました。実際に小さいお子さんがいらっしゃる方は子どもはどうしたらいいの、2時間3時間つなぎっぱなしだったらどうしたらいいのか、留守にはできないし、色々家庭の事情とかあったりなど色々あると思うので、その辺の情報があると実際オンラインになった時でも準備や心づもりなどは出来ると思うので、いつ何時オンライン授業になったとしても、大丈夫だよという感じの安心感が欲しいなと思います。中学校でもいつでもオンライン授業できますと言われてましたが、保護者としてはその心づもりはないので、実際どういう感じになるのか授業になるのかわからないので、学校側は大丈夫でも保護者は全然準備が出来ていない、不安がいっぱいなので、その辺りの情報の共有ができればいいなと思いました。最後に大宝東小学校で市制施行20周年の特別給食をいただきました。大変美味しくいただきました。そして中学校の子ども達も大変美味しかったと言っていましたので、またこういう機会があればいいなと思いました。ありがとうございました。

教育長

保護者にオンライン授業を実施するまでの情報を皆さんに共有するという事は、どういう形になるかは分かりませんが、できればと思います。

他によろしいでしょうか。ありがとうございました。訪問にあたり、校・園関係者の皆さんには訪問の日程調整や事前準備等ご配慮いただき、ありがとうございました。大変お世話になりました。またこういう機会を通じてそれぞれ現場の声を聴かせていただくことは大切だと思いますし、これからの教育行政に活かしていきたいと思います。

教育長

次に日程5 その他①各課からの報告事項について、ございましたら挙手にてお願いいたします。

- ・栗東市教育研究発表大会の開催について 学校教育課参事より案内
- ・栗東市子育て教育 NEXT プロジェクト進捗状況について 学校教育課長より報告
- ・栗東市成人式の開催について 生涯学習課長より案内
- ・輝く未来（資料編）、人権文化事業配信講演会について 人権教育課係長より報告

教育長

ただいまの報告につきまして、ご質問やご意見等ございましたらお願いします。
ないようですので、次に子ども青少年局長より、何か報告事項がありましたらお願いいたします。

子ども青少年局長

学童保育所と学校との協力の関係で報告させていただきます。学童保育につきましては、活動時間は学校終了から本市の場合は基本的には午後六時、延長で午後七時までやっています。これから冬休みを迎えるにあたりまして、長期休業中につきましては終日学童を実施させていただいております。朝の七時半から午後七時まで長い時間を学童で過ごすこととなります。コロナ禍の中で学童保育を実施させていただくので、一番懸念されるのがマスクを外す、食事の時間帯をどう過ごすかということで、各学校とも協議をさせていただいて、小学校の教室をお昼の時間だけ解放していただき、その中で昼食をとるような形で今、施設の協力をお願いしております。全部の学校ではありませんが特にたくさんの学童がいる小学校については特に特別教室をお借りする形でお願いしております。昨日までが来年度の学童の申し込みでしてまだ集計はできておりませんが、状況を見てみますと、6年生が卒業する数よりも1年生が入ってくる数の方が申し込みが多いので、いっぱいの中での学童保育ですが、より子ども達の居場所の確保ということで、現在学童保育に通う子どもの数は874人登録されております。小学生の5人に1人が学童保育の利用数となります。学童保育は自主学習が中心ですけれども、遊びと学習の両面をしながら、国の制度上、放課後児童健全育成事業ということですので、これからも学校と協力しながら子ども達の育成事業に取り組んでまいりたいと思います。

教育長

子ども達が学童で本を読める時間を確保していただいて、あるいは学校との連携をさらに進められるのであれば、図書館を使わせてもらえるような機会を持ってもらえたら大変前向きな取り組みになるのかなと思います。

教育長

それでは各課からの報告事項を終了させていただきます。次に、その他②次回12月度教育委員会定例会日程についてお願いします。

教育総務課長

12月の定例会の日程については、12月23日（木）13時30分からでいかがでしょうか。

教育長

ただいまの定例会日程について、皆様ご都合はいかがでしょうか。

全委員

23日（木）でよい。

教育長

次回定例会は12月23日（木）13時30分からでお願いします。

教育長

本日予定しておりました日程はすべて終了しました。これをもちまして、11月度教育委員会定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会宣言 11：20